

2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	白根 靖大		
NAME	SHIRANE Yasuhiro		

1. 研究課題

（和文）中世史料学の視座による古系図研究

（英文）Research on historical genealogies from the viewpoint of the studies of Japanese medieval documents

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究は、近年進展している中世史料学の視座を用いて、現存する古系図を史料学的に分析し、中世史研究において歴史資料として古系図の活用が広がるように史料価値を高めることを目的とする。

研究対象としたのは、①山形大学小白川図書館所蔵「中条家文書」所収諸系図・関連史料、②国立国会図書館所蔵「諸系譜」、③秋田県公文書館所蔵「元禄家伝文書」所収諸系図・関連史料、④東北大学附属図書館所蔵「狩野文庫」所収諸系図である。このうち、①と③は原本調査・史料収集・分析、②と④は写真版による調査・史料収集・分析を行った。

その結果、①と③については古系図と関連史料を用いた論考の準備、②については当該史料を用いた論者との意見交換、④については史料のデジタル化を行うことができた。いずれも史料価値の高いものであり、これまで十分な分析がなされてこなかった史料である。また、史料としての活用が不十分なものについては、まずは研究資源として利用しやすい状況を構築することが求められる。本研究の成果は今後の研究の進展に寄与するものであると言える。

（英文）

This research aims to clarify the significance of historical genealogies as the documents that give evidence of Japanese medieval history, particularly from the viewpoint of the studies of Japanese medieval documents. The genealogies owned by Yamagata University Kojirakawa Library, National Diet Library, Akita Prefectural Archives, and Tohoku University Library are examined. Though they have not been sufficiently researched so far, it is certain that each of them is a worthy document to study Japanese medieval history.